

あ と が き

本場奄美大島紬の製造はいくつかの工程毎に分業体制になっていて、一人が一貫して原料糸調達から製織りまでを担当することは滅多に例がありません。機屋（はたや）ないし親方と呼ばれる人（メーカー）がデザインを選定し、原料糸を調達し、準備加工、締め織り、染色加工、仕上げ加工、織り手に仕掛かり製品を渡し、それぞれの工程を依頼します。最終工程の織り上げ製品を受取り、検査を受けます。検査に合格してはじめて市場に出荷します。そういう手順を経るのでデザインを選定してから織り上げるまで半年くらいかかります。

本場奄美大島紬の製造法はわかりにくいと言われます。実際に自ら製造に携わってみて作業の内容がわかるようになります。独自の用語や手法も実際の必要にせまられてできてきたものであったと考えられますが、統一的に整理されずに使用されているので難しく感じられます。本書は昭和53年に大島染織指導所が発行した「本場大島紬製造ハンドブック」を底本にして、なるべくやさしく分かりやすいようにという意図で筆者なりの製造技術に関する記述を試みました。永年本場大島紬製造技術研究にかかわった経験からたとえわずかであっても記録を残すことはそれなりの意義があると信ずるからです。

明治10年以後商品として全国に売れるようになり、本場奄美大島紬は大きな発展をとげました。島の産業として奄美に深く根をおろしたのです。南国奄美の輝くような光と豊かな自然の中で私たちの祖先がはぐくんできた、長い伝統を有する本場奄美大島紬をさらに磨きあげ、誇りをもって後世に伝えて行きたいものだと言っています。きものを着ける生活スタイルが激減したといわれますが、だからきものが消滅するとは考えません。長期的にみて、日本の経済発展はなお続くであろうし、日本文化の代表であるきものの生命も紆余曲折はあっても生き続けることでしょう。生き続けるきものの中で本場奄美大島紬も確固とした位置を占めることを期待したいのです。そのような願いを込めて記述に努めました。

鹿児島大学理学部の早川勝光先生にはかねてから染色に関する研究についてご指導をいただいていたので、今回の執筆のときも原稿に目を通していた

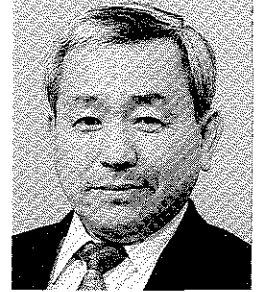
だき、項目の立て方等助言を受け、「まえがき」を書いていただきました。私の勤務先である鹿児島県大島紬技術指導センターの大迫陽一館長にも原稿を通読していただき、「まえがき」を書いてもらいました。読売新聞名瀬通信部の永井常森さんにも原稿を見ていただき助言を受けました。鹿児島県立大島高校の楠本香代子先生は素晴らしい表紙絵をかいてくださいました。職場の同僚の方々にもお世話になりました。小柄図案復元の徳永嘉美さん、CAD図案作成の冨山晃次さん、原料設計表を作成した押川文隆さん、織締め、ジャカード利用の締め技術を教えていただいた福山秀久さん、平田清和さん、染色見本を作成した西決造さん、CCMについて教えてもらった山下宜良さん、操利一さん、校正を手伝っていただいた恵原要さん。取材にご協力いただいた本場奄美大島紬協同組合、本場奄美大島紬販売協同組合、奄美大島紬締加工協同組合、(株)伊集院織物、西島絹織物、栄兼次染色。みなさんに心から感謝を申し上げます。多くの方々の応援でこの小冊子が完成しました。大島紬の製造技術について、たいていのことは分かっているつもりでしたが、実際にペンをとって書き出してみると、細部についての正確なことがはっきりしないことが出てきて、多くの方々から教示をいただきました。私にとって、あらためて大島紬の製造技術について整理し直し、理解を深めるよい機会になりました。公表された資料、文献の引用には極力、記述に正確を期すように努めました。尚誤りがあるかも知れません。ご寛恕をお願いします。

最後に、泥染め、しゃりんばい染色、糊張り、仕上げ加工等取材や写真撮影に同行し、文章を書き継いだり、書き直したりするたびに、「何のことだか分からない」「少しはわかるようになった」等々率直に感想を述べ、批評し、激励してくれた妻リエ子に感謝します。

著者略歴

氏名

あか つか よし ひろ
赤塚嘉寛



1936年 鹿児島県名瀬市に生まれる

1954年 鹿児島県立大島高等学校卒業

同年 鹿児島県大島染織指導所勤務

1961年 慶應義塾大学法学部（通信教育）卒業

現職（1995年現在） 鹿児島県大島紬技術指導センター
染色化学研究室長

主な作品

「たけしちの歌」自治労鹿児島結成30周年記念文芸コンテスト入選（1981年）

「宇検村の未来」大島郡宇検村募集論文三席入選（1992年）

本場奄美大島つむぎ 技術ノート

頒価 2,800円

1996年1月15日 発行

著者 あか つか よし ひろ
赤塚嘉寛

鹿児島県名瀬市大熊1433

電話 0997-52-2885

印刷 有限会社 広報社

鹿児島県名瀬市小浜町31-2

電話 0997-52-1138